

井原市教育便り

ともなび

2016.10 VOL.4

今回の「ともなび」では、子どもたちの学力向上に関する取り組みや、青少年の社会参加に関する取り組みなどを紹介します。



学力向上に

家庭・地域の協力

『全国学力・学習状況調査の結果から』

平成28年4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果は、左の表のようになりました。

学力調査では、小学校では算数、中学校では国語において全国を上回る結果が出ました。他の教科では、それぞれに課題も見られますが、全国や県との差は比較的小さくなっており、各学校や家庭・地域での取り組みが成果として表れつつあると考えております。

各学校では、岡山県教育委員会から出されている「岡山型学習指導のスタンダード」「家庭学習のスタンダード」等を参考に、各学校もしくは各中学校区で統一ルール（スタンダード）を作成して授業や家庭学習の改善に取り組んだり、地域の方を支援員としてお招きしての放課後学習や地域土曜学習を進めたりするなど、様々な取

り組みを継続して行っています。

また、児童生徒質問紙調査の結果からは、下の表に示すとおり、児童・生徒ともに朝食の摂取率や就寝時刻について高い肯定率が出ており、各家庭での協力にあらためてお礼申し上げます。

その一方で、普段（月～金曜日）の日の過ごし方については、全国と比較して小学校では家庭読書が少なく、中学校では家庭学習が少ないという残念な傾向も見られました。

教育委員会 各学校

の取り組み

井原市教育委員会では、各小・中学校での統一ルール（スタンダード）の作成・修正・徹底を進める

とともに、岡山県教育委員会が推奨する「夜9時以降の携帯・スマホの使用制限」や「プラスマイナス15分（メディア使用時間を15分減らし、家庭学習を15分増やす）の取組等を取り入れるなど、学校・家庭・地域が一丸となって課題の改善に取り組んでいきたいと考えています。

全国学力・学習状況調査 井原市の平均正答率と国・県との差（単位：ポイント）				
小学校6年生	国語A	国語B	算数A	算数B
全国との比較	-0.5	-1.3	1.8	0.4
県との比較	-0.2	-1.0	2.2	0.3
中学校3年生	国語A	国語B	数学A	数学B
全国との比較	1.3	-0.5	-2.6	-2.4
県との比較	2.2	2.2	-0.7	0.3

○国語、算数・数学のA問題
主として基本的・基礎的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

○国語、算数・数学のB問題
主として知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

今後ともご協力をよろしく願います。



▲自分で描いたモンスターを英語で紹介

参加した中学生からは、「普段、あまり英語で会話することがないので、いい経験になった」「ア

平成28年7月25日（月）から26日（火）の2日間、星の郷ふれあいセンターを会場に、『井原市イ

高めるとともに、グローバルな意識をもつ子どもたちの育成につなげようと、今年度初めて井原市教育委員会が市内の英語指導助手（ALT）と協力して企画した、1泊2日のイベントです。

当日は、市内の中学生9名と英語担当教諭4名が参加し、ALT5名と一緒に英語を使ったアクティビティや食事づくり、美星天文台の見学等を通して、英語や外国の文化に親しむことができました。

初の「イングリッシュ・キャンプ」を開催

7月25日～26日

これは、外国人との宿泊活動を通して「生きた英語」にふれる機会を用意すること、英語に対する関心を

児童生徒質問紙調査（肯定率と全国との差）

- 上段＝肯定率（単位：%）
- 下段＝全国との差（単位：ポイント）

質問事項	小学校	中学校
朝食を毎日食べていますか。	96.3 (0.8)	95.2 (1.9)
普段(月～金)、何時頃寝ますか。 ※肯定回答：小＝22時までの就寝 中＝23時までの就寝	66.9 (17.3)	49.4 (12.5)
普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。 ※肯定回答：2時間以内	75.0 (3.6)	65.4 (-7.9)
学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。 ※肯定回答：1時間以上	69.1 (6.6)	48.5 (-19.4)
学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日あたりどれくらいの読書をしますか。 ※肯定回答：30分以上	34.1 (-2.4)	31.6 (3.4)

幼稚園・保育園と

小学校が協力タッグ

幼稚園・保育園から小学校への入学は、遊び中心の生活から学習中心の生活に変わるなど大きな変化があり、子どもにとっては大きな壁となっています。

この壁をなくし、就学前教育と小学校教育を円滑に接続していくため、教育委員会では、保幼小連携事業に取り組んでいます。

今年度は「お互いのことを知る」を合言葉に、お互いに保育や授業を参観し合ったり、幼児・児童の交流を積極的に行ったりして、互いの保育や教育について理解を深めています。

参加した中学生からは、「普段、あまり英語で会話することがないので、いい経験になった」「ア

▼ALTと夕食づくり



▼園児と小学生の交流



見たことあるかな？

このマーク

「『みらいのひかりをつなげプロジェクト』のシンボルです。」



▲活動のシンボル

これは井原市中央公民館事業として行っている「みらいのひかりをつなげ」プロジェクトのシンボルです。

このプロジェクトは、若者たちが地域に関心をもち、自らの力で地域をよくしていこうとする意欲を高めるために、実践力を身に付ける場をつくることで自己有用感や地域への愛着心を育み、地域の活性化に生かそうという取り組みです。

このプロジェクトに参加しているメンバーを総称して「Team 夢源（おげん）」といいます。市内に在住または在学する中・高校

生を「夢源Makers」、プロジェクトの趣旨に賛同しMakersとともに活動する地域の大人たちを「夢源Supporters」といいます。先にあげたシンボルはSupportersの方の作品です。

Team夢源の活動は、大きく分けて「You & Meカフェ」「夢源塾」そして今年度から取り組む「マイプロジェクト」の三つです。

「You & Meカフェ」では、自由参加のカフェ的スペースを用意し、Makersがゲームや発表を企画して行います。Team夢源でなくても参加できるので、若者や地域の大人たちと交流できます。このとき、まなびエスタなど市の行事等への参加について話し合ったり準備をしたりすることもあります。

「夢源塾」では、市内外から地域社会で活躍する先輩方を講師として招き、講演を聴いたり意見交換をします。自分の将来や夢について新たな気づきを得る機会にしてほしいと思います。

「マイプロジェクト」は、私たちの中にある「こうあってほしい」という思いや願い、例えば「いつも笑わないあの人を笑わせてみたい」「もっと人が集まる町にしたい」などを、どのようにしたら自分の思いが叶えられるのか、その取り組みの方法などを考えて、実際にを行う自主企画活動です。今

年度は、9月のマイプロジェクトスタートアップ合宿で互いに協議し、自分の考えをまとめて発表することができました。今後、各自の取組を伝えあい磨きあう場を、用意したいと考えています。

このほかにも、市内外の団体とコラボする活動もあり、これらに主体的に取り組むことでMakersは自分の「無限」の可能性を感じたり、それぞれの「夢の源」を見つけることができるかと期待しつつ、Supportersも活動しています。

興味をもたれた方は、井原市中央公民館（63・3347）へご連絡ください。

図書館に行ったよ!! 夏休み工作教室と スタンプカードを実施

図書館では、子どもたちの夏休み期間中、工作教室とスタンプカードを実施しました。これは、図書館を身近に感じてもらう、読書意欲を高めることを目的に毎年実施しています。

今年度の工作教室は、井原図書館で小学生を対象に「きらきら！スノードームをつくるつー」、美星図書館で幼稚園児と小学生を対象に「木でつくろう！どうぶつアクセサリー」を行ない、「夏休みスタンプカード」は、全館で0歳から小学生を対象に実施しました。参加者からは、「少し難しかったけれど、キラキラしたかわいいスノードームを作ることができて



▲どうぶつアクセサリーの力作です

楽しかった」「親子で一緒にアクセサリー作りができて、とても楽しかった。家に帰ってから身に着けて喜んでいた」「スタンプカードのスタンプがだんだん増えていくのはうれしかった。賞状と賞品のノートがもらえてもつうれしかった」などの感想が寄せられ、子どもたちが図書館に慣れ親しんでいる様子を感じられました。

いばらぎ知識 二第4回二 幕末の知識人の交流 -阪谷朗廬を中心に-

阪谷朗廬は文政5年(1822)生まれで明治14年(1881)に亡くなった、幕末の井原地方を代表する知識人です。後月郡築瀬村に桜溪塾を開いた後、嘉永6年(1853)に同郡西江原村の郷校興譲館に初代館長として迎えられました。阪谷朗廬は教育に専念しつつ、福山藩の関藤藤陰、備中松山藩の山田方谷、公家の大原重徳、長州藩の久坂玄瑞など様々な立場の人々と交流しました。

写真はその中の一つ、関藤藤陰作製の巻物「蝦夷探査図絵」です。

藤陰は、第7代備後福山藩藩主である阿部正弘から命がくだり、蝦夷地および樺太への探査へ2回赴いています。この資料は2回目に当たる安政4年(1857)の記録であり、福山藩士吉沢忠恕、山本橋次郎と訪れ、カラフト・ポロコタン・ソウヤ経由イシカリにいたる北蝦夷探査で行程238日に及びました。その帰途に正弘公の訃報が届いています。

資料には「比伊呂鳥」や「西蝦夷小糸井」といった現地の鳥や土地の眺望を絵に残し、日付やその様子を記しています。

芳井歴史民俗資料館では平成28年度特別展として、阪谷朗廬と彼と交流のあった知識人について紹介するとともに、彼らから政情・世情についての見識を深めていった阪谷朗廬と幕末について振り返ります。この機会にぜひ、お立ち寄りください。

□□□ 芳井歴史民俗資料館秋季特別展のご案内 □□□
「幕末の知識人の交流 -阪谷朗廬を中心に-」

- ・会 期 10月22日(土)～12月4日(日)
- ・休館日 月・木曜日(11月3日は開館し、4日を休館します)
- ・入館料 無 料

今後も特別行事をさらに充実させ、子どもたちの読書活動を推進していきたいと思います。

スポーツ指導はおまかせ
スポーツ推進員を
ご活用ください

井原市スポーツ推進委員協議会では、現在20名が委員として活動しています。

活動内容は、協議会及び研修会の開催、市民スポーツの日の運営をはじめ、市民体育祭、笑って健康ウォーキングinびせい、全国健康マラソン井原大会等各種イベントへ委員を派遣しています。

なかでも、地域スポーツ教室は、スポーツの楽しさを味わってもらい、一人でも多くの方にスポーツに親しんでいただく場を提供するために、各種団体からの希望に応じて、ニユースポーツなど気軽に取り組みめるスポーツの指導に出向いていますので、ぜひ様々な場面

井原市教育便り

と も な び

- 発行 井原市教育委員会
- 編集 教育委員会教育総務課
- 住所 井原市井原町311-1
- FAX TEL 0866-62-9531
- 0866-62-0332